

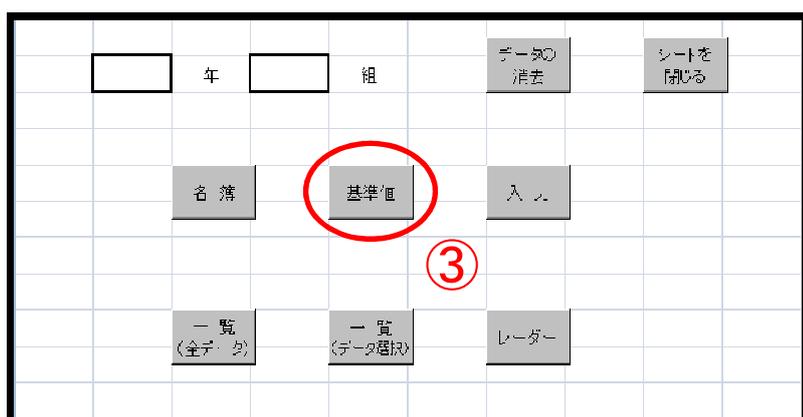
# 1. データ入力前にすること



学年と組を入力し、「名簿」をクリック



性別と名前を入力し、「保存」をクリック



「基準値」をクリック

		保存		TOP							
④		50m	100m	ソフトボール投げ	走り幅跳び	走り高跳び	立ち幅跳び	握力(右)	握力(左)		
基準値	男	9.0	17.0	25.0	308.0	105.0	130.0	16.0	15.0		
	女	10.0	18.0	25.0	245.0	135.0	90.0	13.0	9.0		
最低基準	男	11.5	19.5	0.0	259.0	80.0	80.0	11.0	10.0		
最高基準	男	6.5	14.5	50.0	359.0	130.0	180.0	21.0	20.0		
最低基準	女	12.5	20.5	0.0	195.0	110.0	40.0	8.0	4.0		
最高基準	女	7.5	15.5	50.0	295.0	160.0	140.0	18.0	14.0		

男女別に基準値を入力し、「保存」をクリック  
 基準値を入力すると、その基準値の時ににおける最高基準・最低基準が男女別に表示されます(最高基準が100、最低基準が0と換算されます)

C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M
男										
50m	得点	100m	得点	ソフトボール投げ	得点	走り幅跳び	得点	走り高跳び	得点	立ち幅跳び
6.5	100	14.5	100	0.0	0	259.0	0	80.0	0	80.0
6.6	98	14.6	98	1.0	2	260.0	1	81.0	2	81.0
6.7	96	14.7	96	2.0	4	261.0	2	82.0	4	82.0
6.8	94	14.8	94	3.0	6	262.0	3	83.0	6	83.0
6.9	92	14.9	92	4.0	8	263.0	4	84.0	8	84.0
7.0	90	15.0	90	5.0	10	264.0	5	85.0	10	85.0
7.1	88	15.1	88	6.0	12	265.0	6	86.0	12	86.0
7.2	86	15.2	86	7.0	14	266.0	7	87.0	14	87.0
7.3	84	15.3	84	8.0	16	267.0	8	88.0	16	88.0
7.4	82	15.4	82	9.0	18	268.0	9	89.0	18	89.0
7.5	80	15.5	80	10.0	20	269.0	10	90.0	20	90.0
7.6	78	15.6	78	11.0	22	270.0	11	91.0	22	91.0
7.7	76	15.7	76	12.0	24	271.0	12	92.0	24	92.0
7.8	74	15.8	74	13.0	26	272.0	13	93.0	26	93.0
7.9	72	15.9	72	14.0	28	273.0	14	94.0	28	94.0

得点基準とタイムなどのデータとの整合性を変更したい場合は、男は「C16」～「CH116」の範囲の数値を、女の場合は「C122」～「CH222」の範囲の数値を変更する

## 2. データ入力

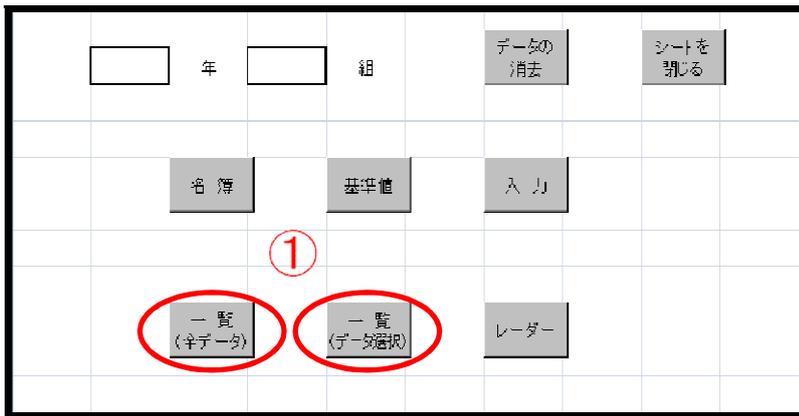
「入力」をクリック

左のように表示されるので、  
入力したい項目にチェックを  
入れ、「OK」をクリック

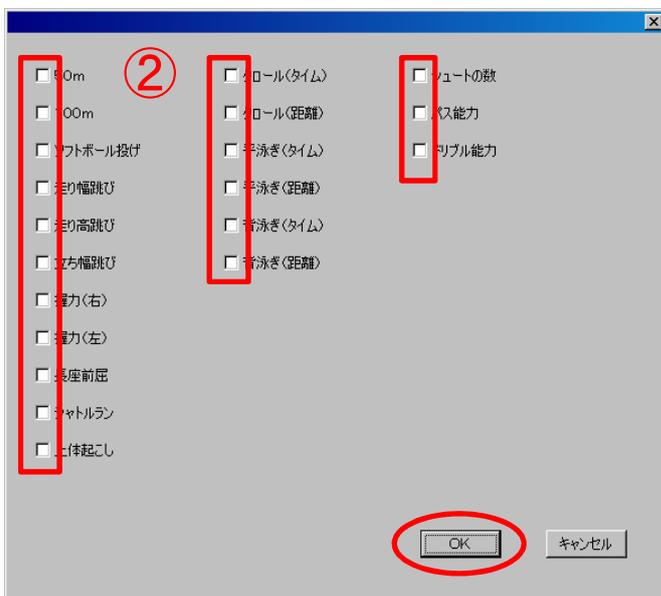
		保存	TOP				
				日付など			
				50m			
出席番号	性別	名前					自己ベスト
1	男	A					
2	女	B					
3	男	C					
4	男	D					
5	女	E					
6	男	F					
7	男	G					

データを入力し、「保存」をクリック  
(自己ベストの欄は自動で表示されます)

### 3. 入力したデータを一覧表で確認する

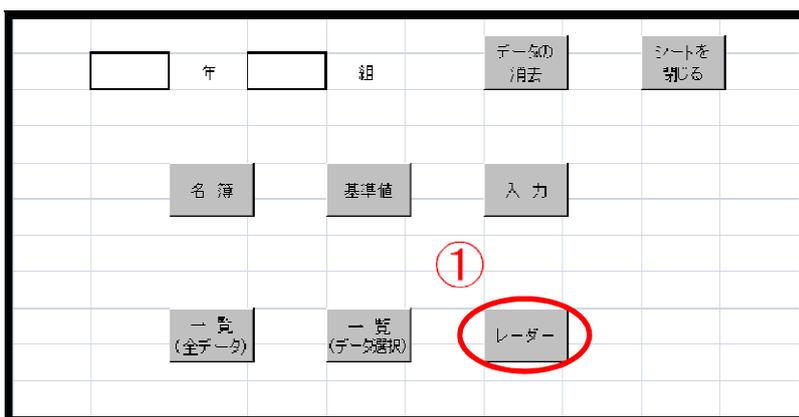


入力した全データを見たい場合は、「一覧(全データ)」を、特定のデータを選択して見たい場合は、「一覧(データ選択)」をクリック



「一覧(データ選択)」をクリックすると、左のように表示されるので、入力したい項目にチェックを入れ、「OK」をクリック

### 4. 入力したデータをレーダーに印刷する



「レーダー」をクリック

50m  
 100m  
 ソフトボール投げ  
 走り幅跳び  
 走り高跳び  
 立ち幅跳び  
 握力(右)  
 握力(左)  
 長座前屈  
 シャトルラン  
 上体起こし

ロール(タイム)  
 ロール(距離)  
 平泳ぎ(タイム)  
 平泳ぎ(距離)  
 背泳ぎ(タイム)  
 背泳ぎ(距離)

ユートの数  
 投擲能力  
 リプル能力

\* 1回に選択する項目数を5個以内にしてください。  
5個以上の項目はレーダーに反映されません。

OK キャンセル

左のように表示されるので、入力したい項目にチェックを入れ、「OK」をクリック(選択する種目の数が5項目を超えた場合、超えた項目はレーダーに反映されません)

TOP 個人票印刷 個人票印刷プレビュー

(1人毎のプレビュー画面になります)

印刷範囲

開始番号	終了番号
1	30

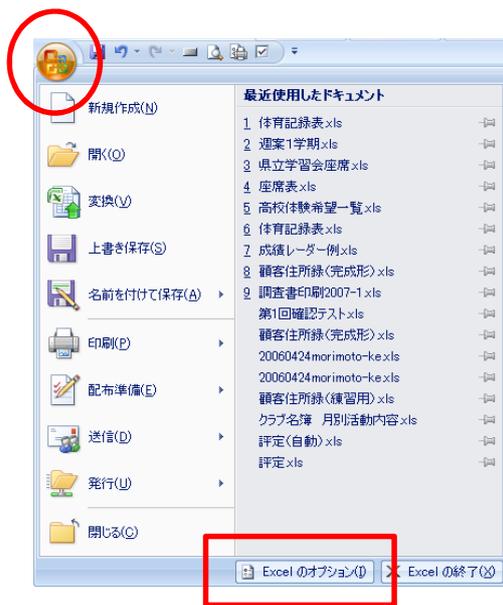
個人票

番号	氏名
50m	100m
ソフトボール投げ	走り幅跳び

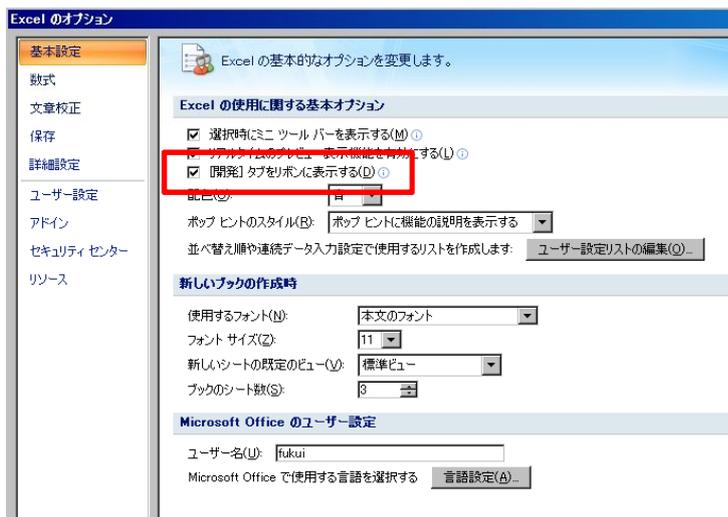
印刷したい「開始番号」と「終了番号を」記入し、「個人票印刷」をクリック印刷プレビューを見たい場合は、「個人票印刷プレビュー」をクリック(一人一人の印刷プレビューになります。印刷範囲が30人分あった場合30回プレビュー画面が表示されます)



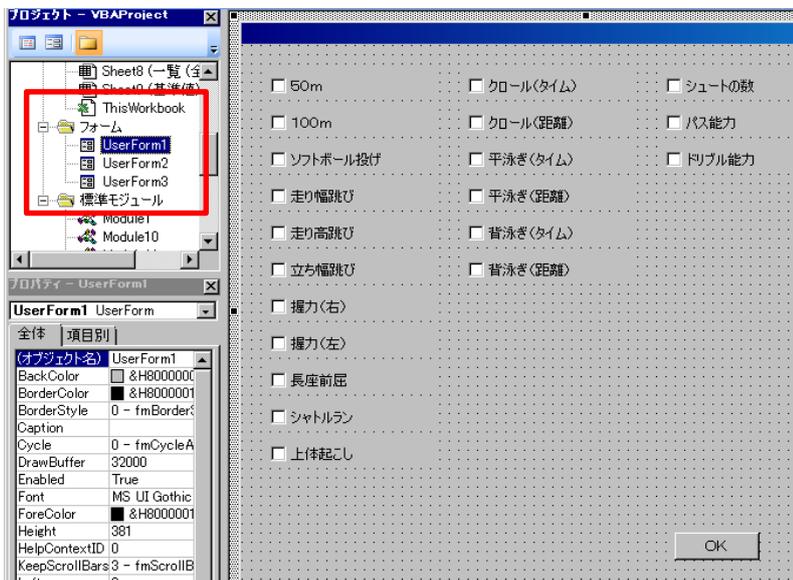
「開発」のタブが表示されていない場合は・・・



左上の「オフィスボタン」をクリックし、「Excelのオプション」をクリック

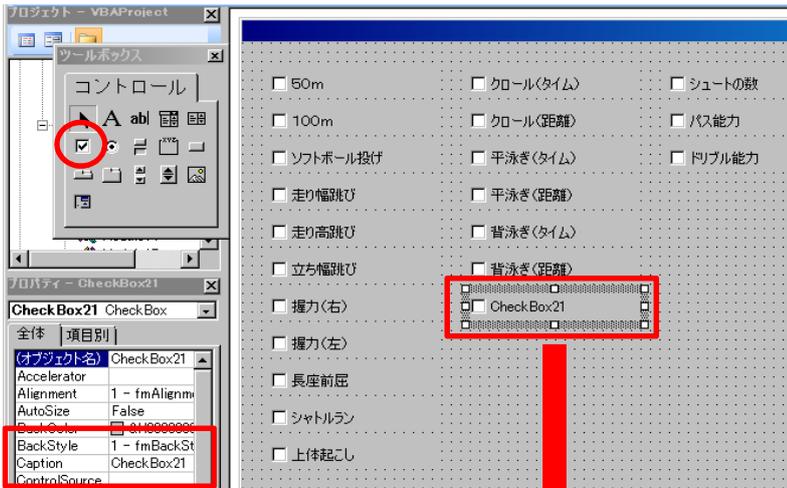


基本設定の「開発」タブをリボンに表示する、にチェックをいれる「開発」のタブが表示されるので、前ページのように操作する

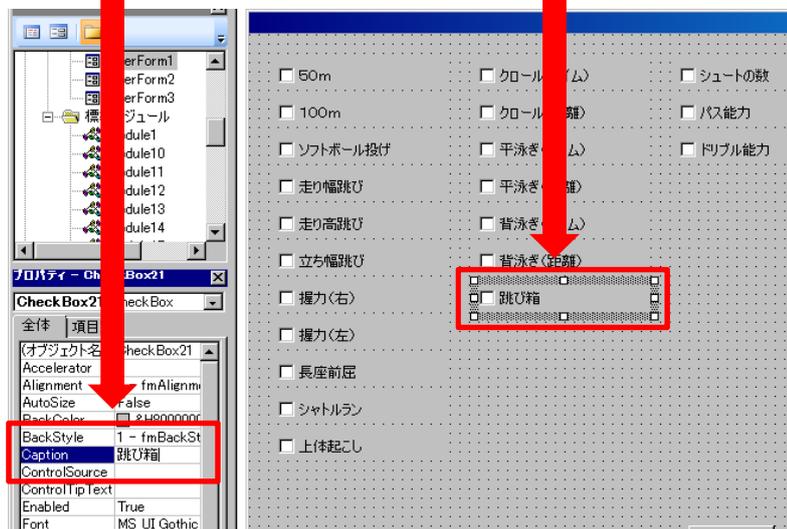


フォームを選択し、「UserForm1」「UserForm2」「UserForm3」のチェックボックスを増やし、マクロをくむ

## チェックボックスの増やし方

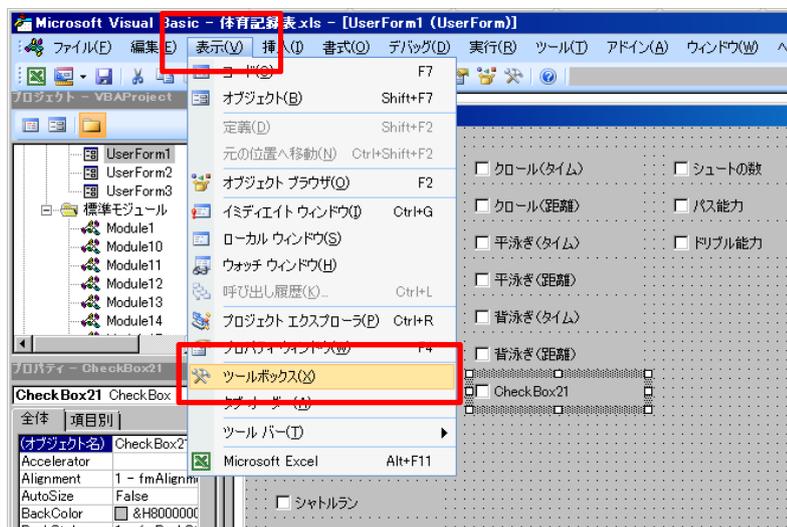


ツールボックスの「チェックボックス」をクリックし、増やしたい場所でクリック



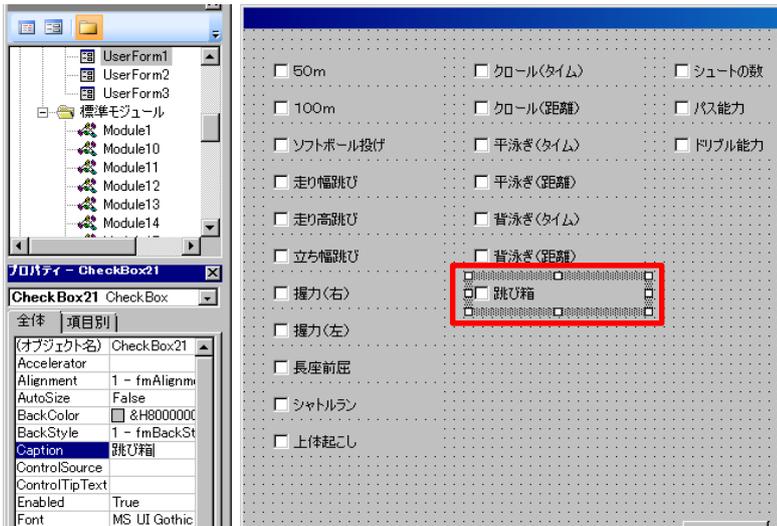
プロパティの「Caption」を入力し、チェックボックスの名前を変更する

「ツールボックス」が表示されていない場合は・・・

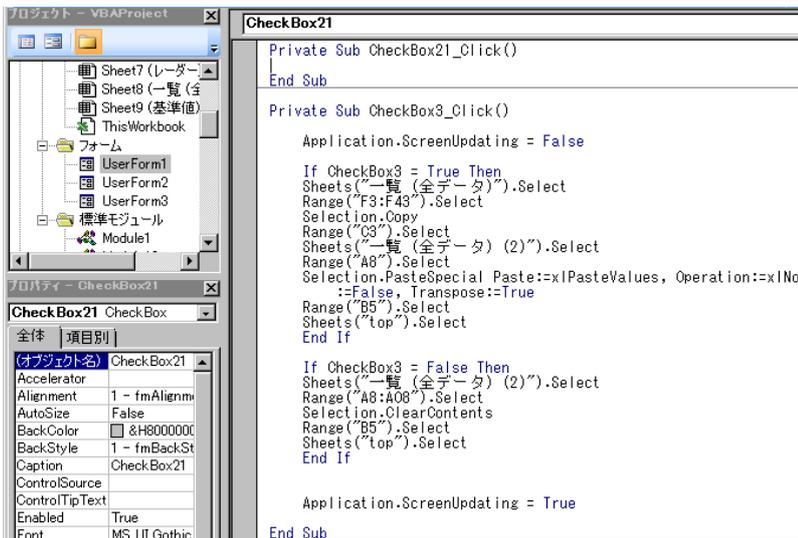


「表示」の「ツールボックス」をクリック

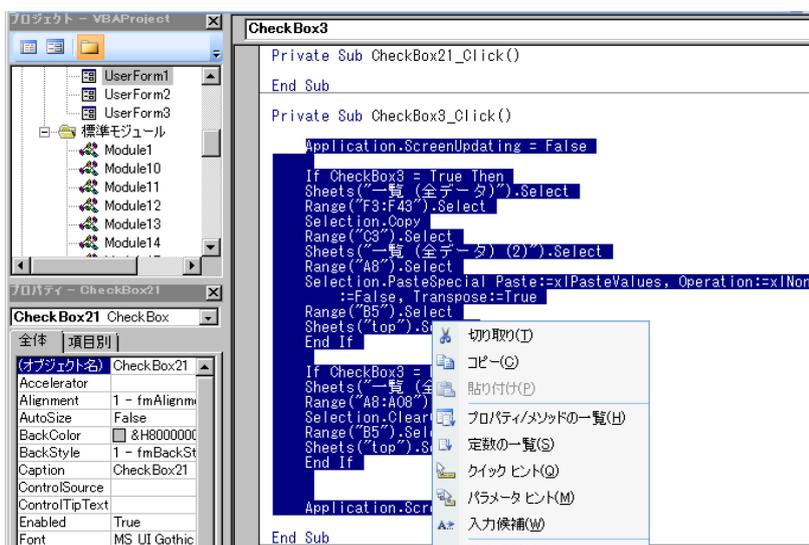
## マクロのくみ方 (UserForm1の場合)



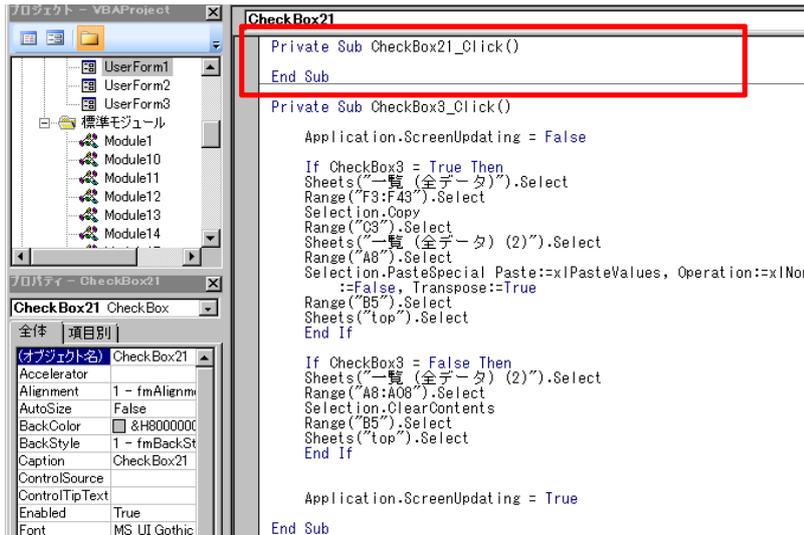
増やした項目をダブルクリック



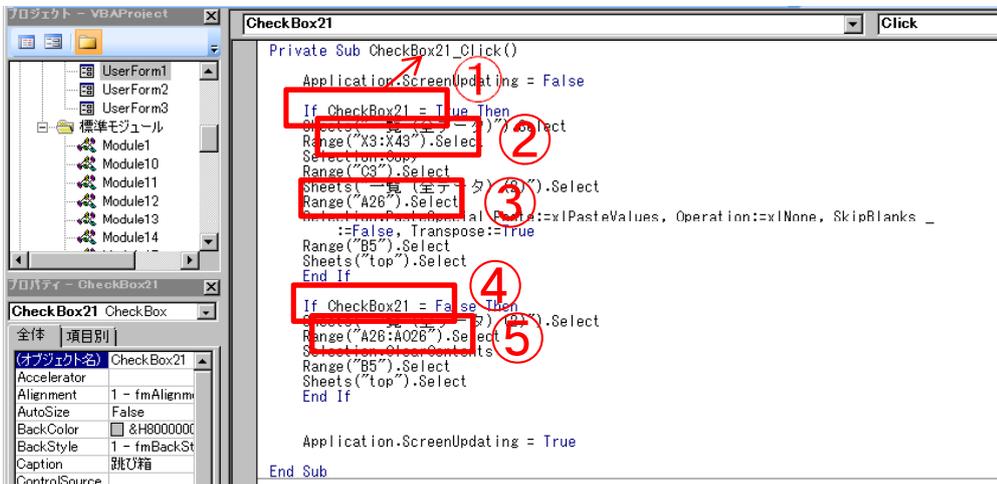
左のような画面になります



Application.~  
... = True  
をコピーする



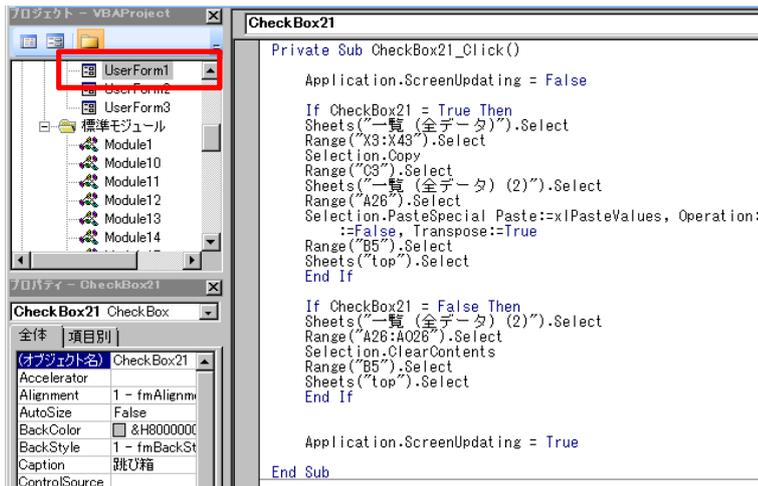
CheckBox21\_Click()  
とEnd Subの間に貼り  
付ける



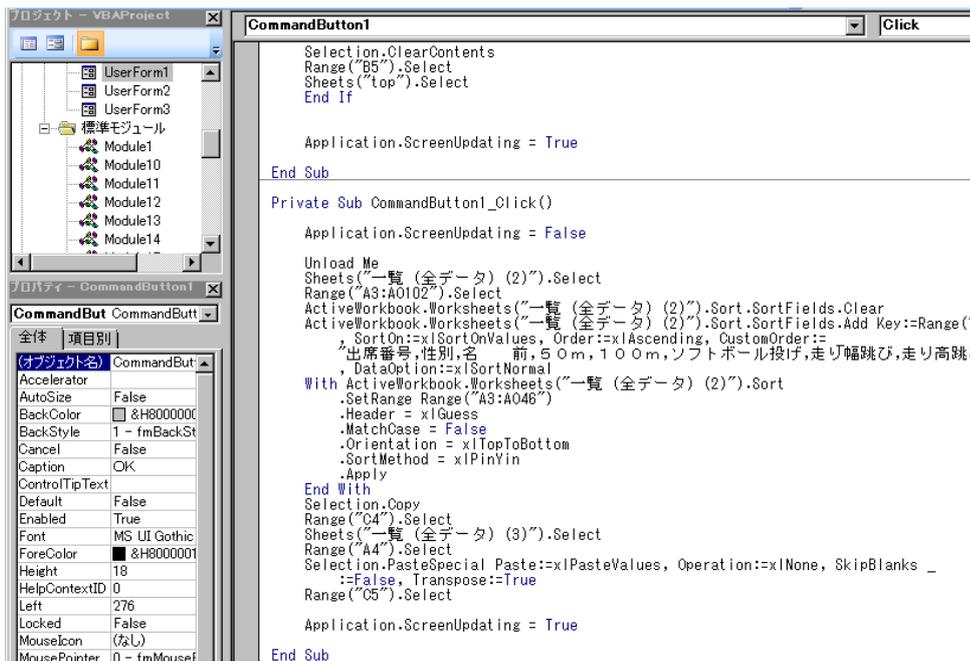
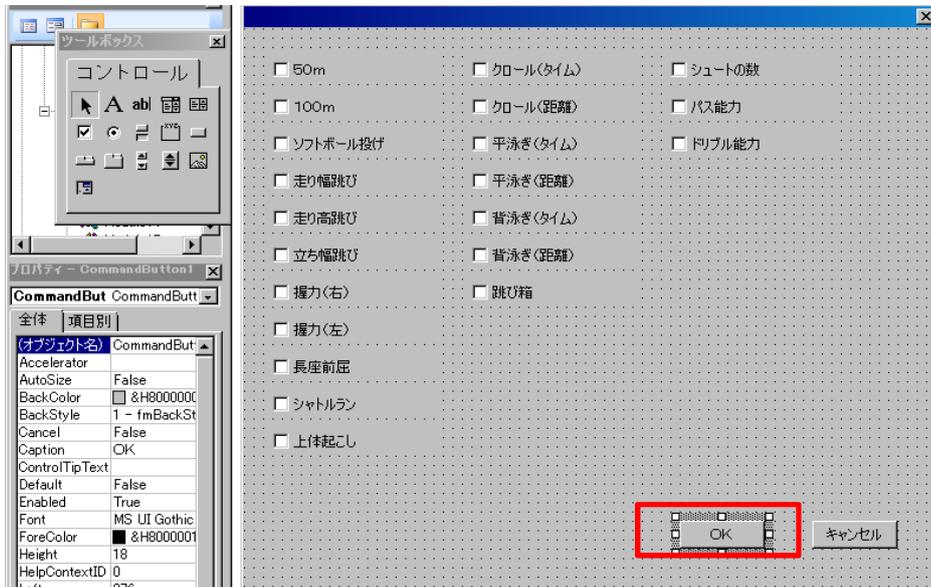
- ① CheckBox の後の数字を Private Sub CheckBox \_Click() の数字の部分と同じにする
- ② アルファベットの部分を「X(エックス)」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「Y」、次は「Z」というようにアルファベット順に変えていく
- ③ Range("A ")の部分の数字を「26」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「27」、次は「28」というように1ずつ増やしていく
- ④ ①と同様に数字の部分と同じ数字にする
- ⑤ Range("A :AO ")の部分の数字を両方とも「26」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「27」、次は「28」というように1ずつ増やしていく

☆増やした項目が2個以上ある場合は、画面左のUserForm1をダブルクリックし、前ページの流れで繰り返す その場合、上の②、③、⑤に注意する

(方法については文書で説明しにくいので、マクロに詳しい方にしてもら



UserForm1をダブル  
クリック



左のような画面に  
なります

```

Private Sub CommandButton1_Click()
    Application.ScreenUpdating = False
    Unload Me
    Sheets("一覧 (全データ) (2)").Select
    Range("A3:A0102").Select
    ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (全データ) (2)").Sort.SortFields.Clear
    ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (全データ) (2)").Sort.SortFields.Add Key:=Range("A0:A46") _
        , SortOn:=xlSortOnValues, Order:=xlAscending, CustomOrder:=
        出席番号,性別,名前,50m,100m,ソフトボール投げ,走り幅跳び,走り高跳び,立ち幅跳び,握力(右),握力(左),長座前屈,シャトルラン,上体起こし
        , DataOptions:=xlSortNormal
    With ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (全データ) (2)").Sort
        SetRange Range("A3:A046")
        .Header = xlGuess
        .MatchCase = False
        .Orientation = xlTopToBottom
        .SortMethod = xlPinYin
        .Apply
    End With
    Selection.Copy
    Range("C4").Select
    Sheets("一覧 (全データ) (3)").Select
    Range("A4").Select
    Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _
        :=False, Transpose:=True
    Range("C5").Select
    Application.ScreenUpdating = True
End Sub

Private Sub CommandButton2_Click()
    Unload Me
End Sub

```

画面下にあるスクロールバーを動かし、①の部分の行の最後の部分を表示する

```

E) ,平泳ぎ (タイム) ,平泳ぎ (距離) ,背泳ぎ (タイム) ,背泳ぎ (距離) ,シュート本数,パス能力,ドリブル能力" _

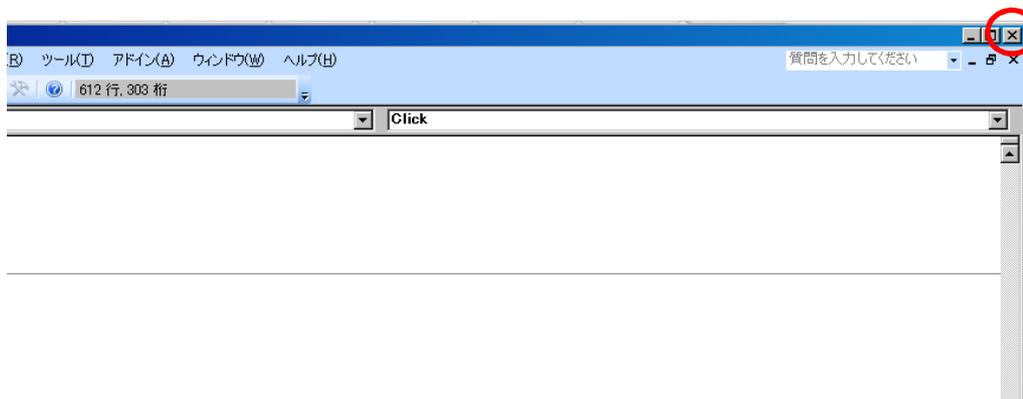
```

「ドリブル能力」の後に増やした項目を入力する(項目と項目の間は半角のコンマでつなげてください)

例

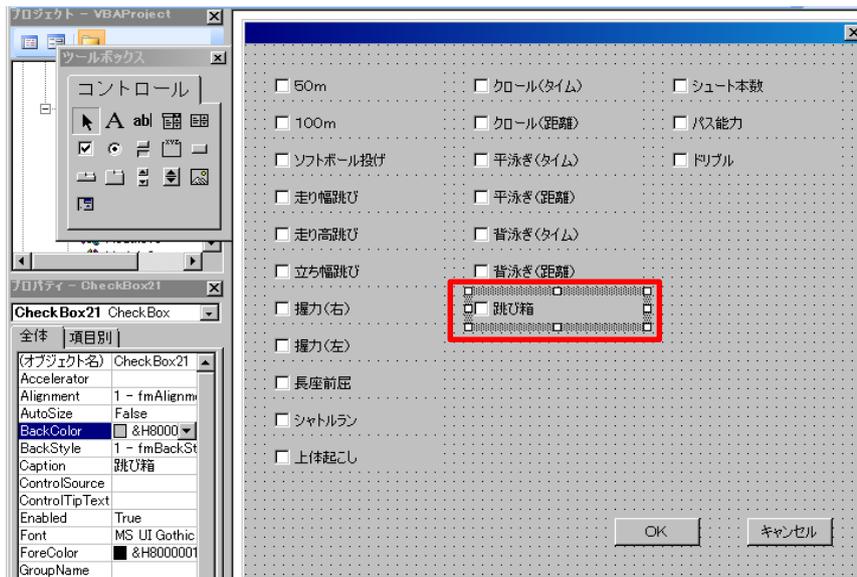
・・・,ドリブル能力,跳び箱,鉄棒,マット" \_

(この順番に並び替えるというマクロです データ選択の一覧を表示する際、表示する順番を変更したい場合は、この順番を入れ替えてください)

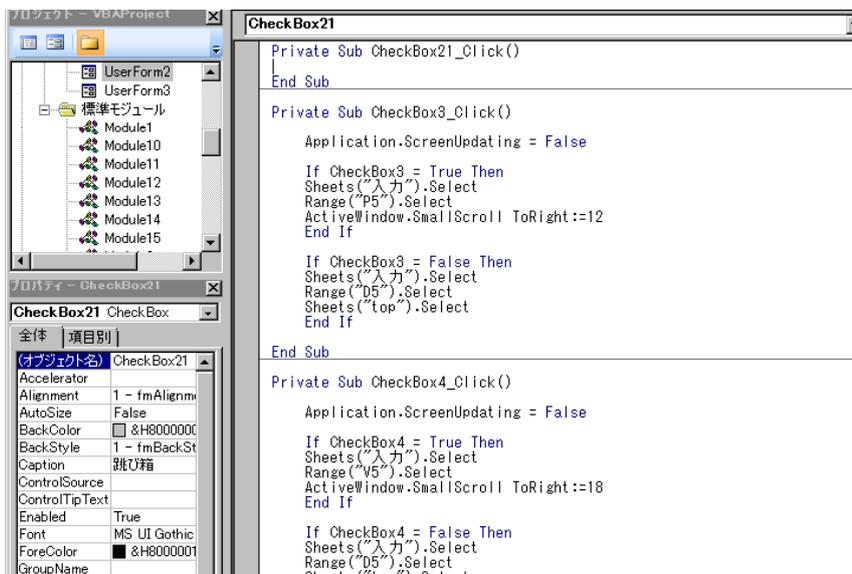


右上の「×」で閉じる

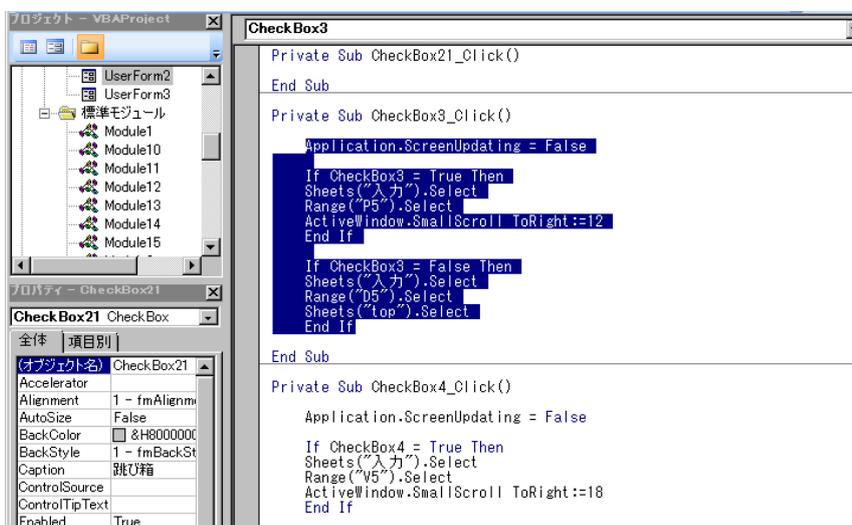
## マクロのくみ方 (UserForm2の場合)



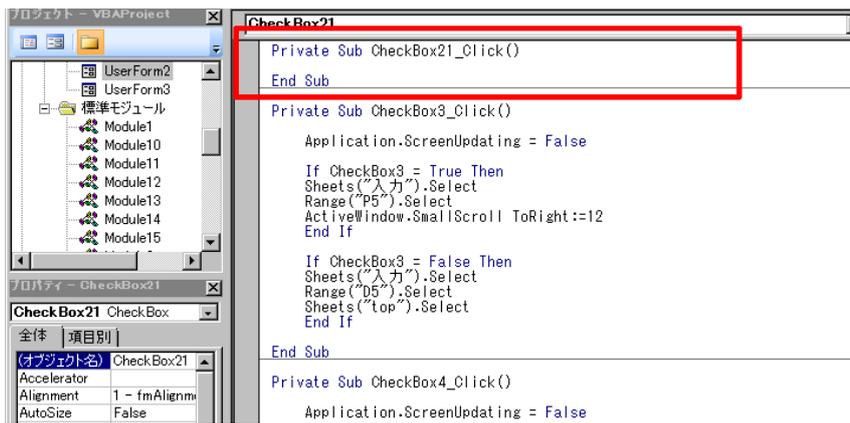
増やした項目をダブルクリック



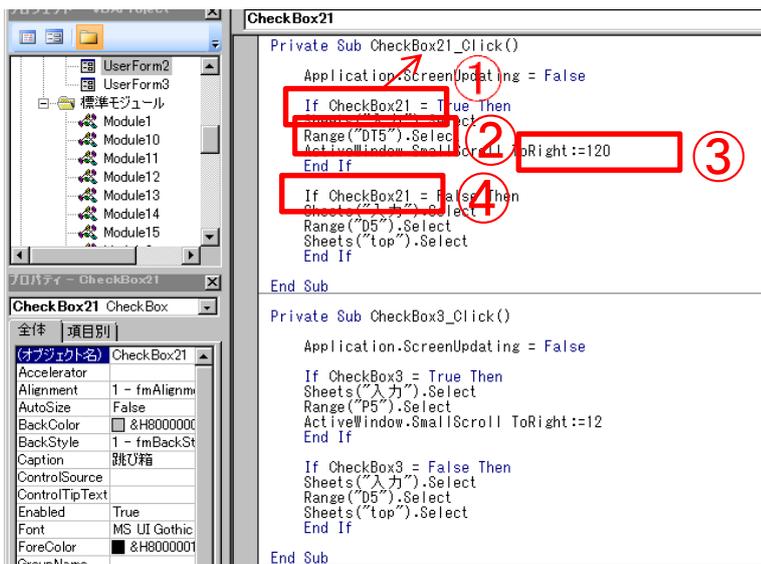
左のような画面になります



Application.~  
... End If  
をコピーする



CheckBox21\_Click( )  
とEnd Subの間に貼り  
付ける

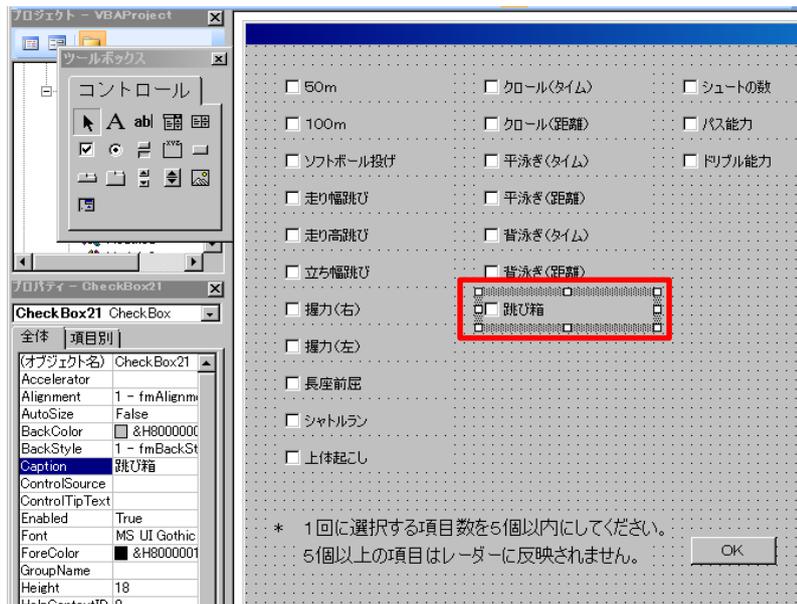


- ① CheckBox の後の数字を Private Sub CheckBox \_Click() の数字の部分と同じにする
- ② アルファベットの部分を「DT」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「DZ」、次は「EF」というように6とびのアルファベット順に変えていく
- ③ ToRight:= の後の数字を「120」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「126」、次は「132」というように6とびの数字に変えていく
- ④ ①と同様に数字の部分と同じ数字にする

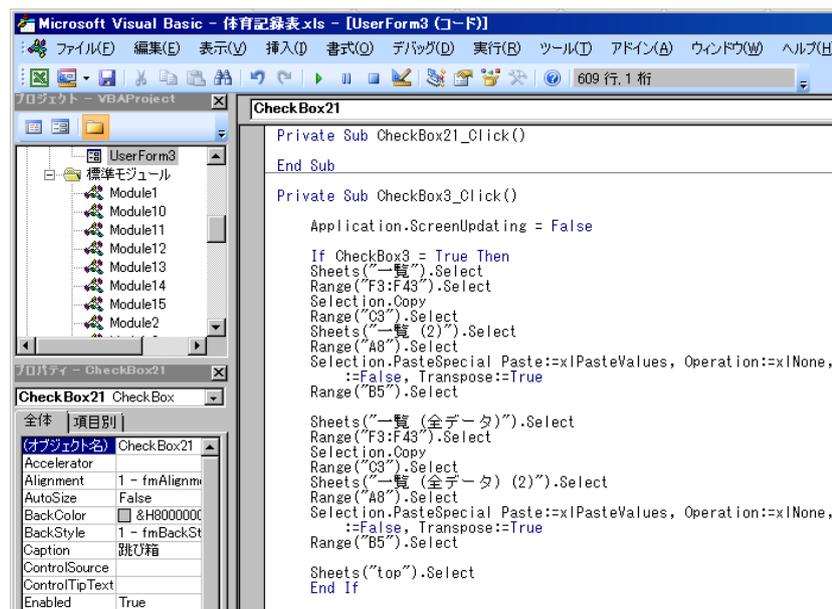
☆増やした項目が2個以上ある場合は、画面左のUserForm2をダブルクリックし、前ページの流れで繰り返す その場合、上の②、③に注意する

(方法については文書で説明しにくいので、マクロに詳しい方にしてもらおう方がよいと思います)

## マクロのくみ方 (UserForm3の場合)

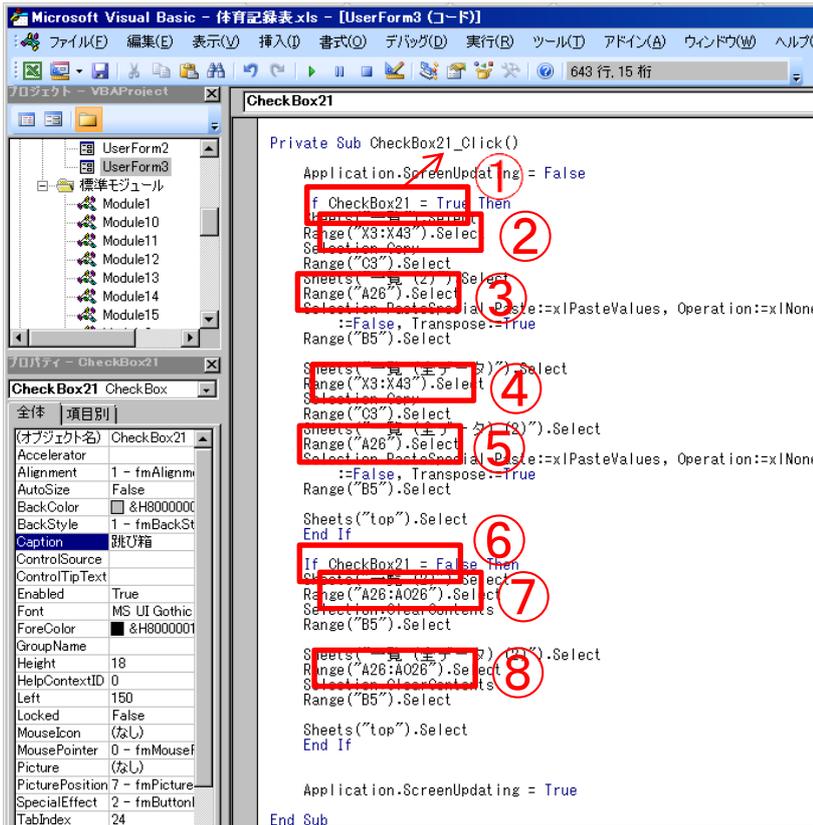


増やした項目をダブルクリック



左のような画面になります

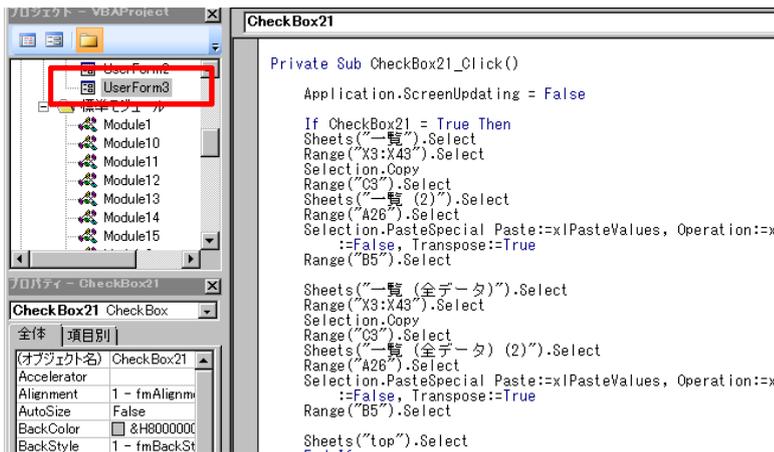




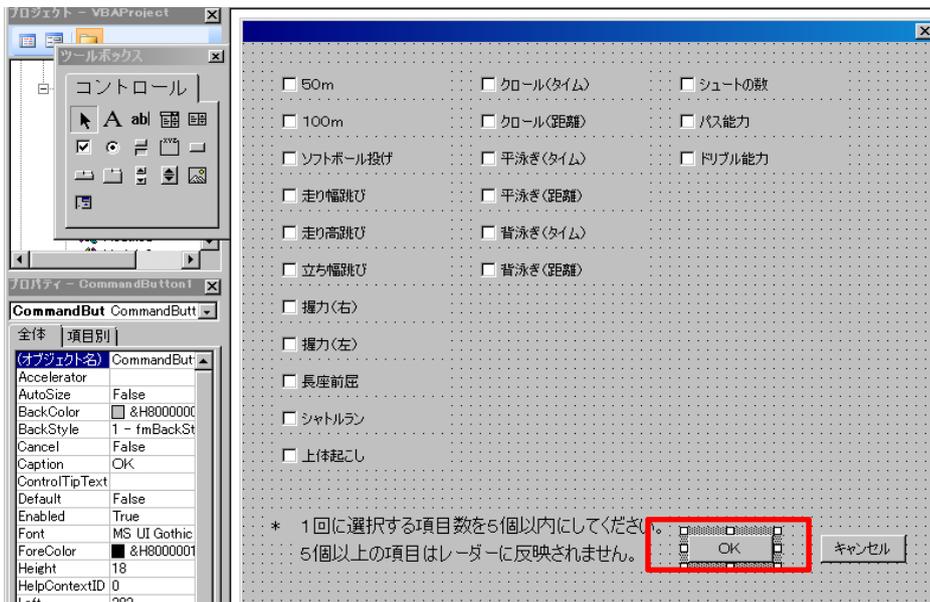
- ① CheckBox の後の数字を Private Sub CheckBox \_Click() の数字の部分と同じにする
- ② アルファベットの部分を「X(エックス)」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「Y」、次は「Z」というようにアルファベット順に変えていく
- ③ Range("A ")の部分の数字を「26」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「27」、次は「28」というように1ずつ増やしていく
- ④ アルファベットの部分を「X(エックス)」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「Y」、次は「Z」というようにアルファベット順に変えていく
- ⑤ Range("A ")の部分の数字を「26」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「27」、次は「28」というように1ずつ増やしていく
- ⑥ ①と同様に数字の部分と同じ数字にする
- ⑦ Range("A :AO ")の部分の数字を両方とも「26」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「27」、次は「28」というように1ずつ増やしていく
- ⑧ Range("A :AO ")の部分の数字を両方とも「26」にする チェックボックスをもう一つ増やしたら「27」、次は「28」というように1ずつ増やしていく

☆増やした項目が2個以上ある場合は、画面左のUserForm3をダブルクリックし、前ページの流れで繰り返す その場合、上の②、③、④、⑤⑦、⑧に注意する

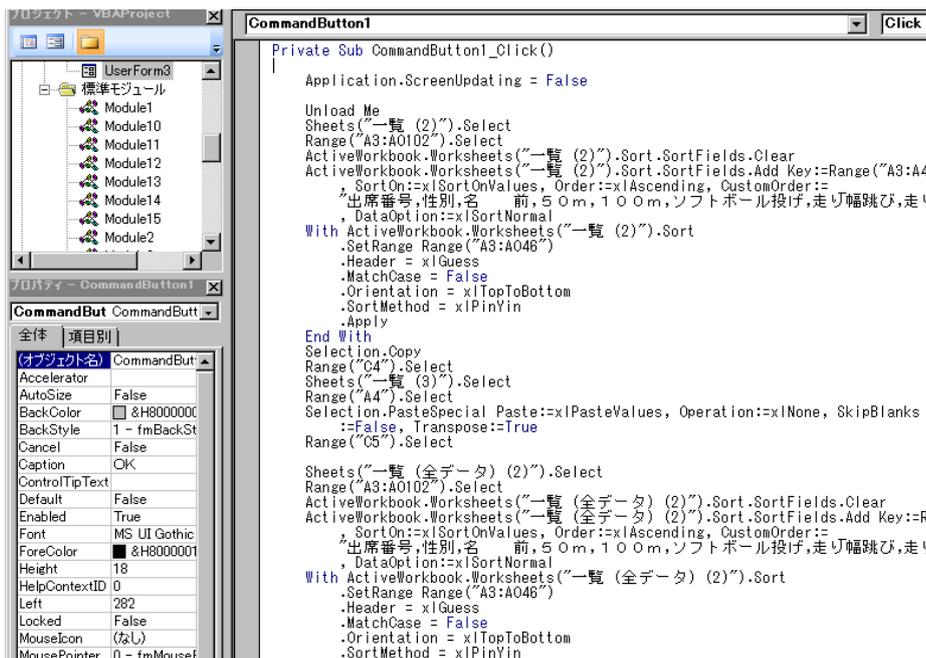
(方法については文書で説明しにくいので、マクロに詳しい方にしてもら



UserForm3をダブル  
クリック



「OK」をダブル  
クリック



左のような画面に  
なります

```

Private Sub CommandButton1_Click()
    Application.ScreenUpdating = False

    Unload Me
    Sheets("一覧 (2)").Select
    Range("A3:A0102").Select
    ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (2)").Sort.SortFields.Clear
    ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (2)").Sort.SortFields.Add Key:=Range("A3:A46")
    .SortOn:=xlSortOnValues, Order:=xlAscending, CustomOrder:=
    , 出席番号,性別,名前,50m,100m,ソフトボール投げ,走り幅跳び,走り高跳び,立ち幅跳び,握力(右),握力(左),長座前屈,シャトルラン,上体起こし
    , DataOption:=xlSortNormal
    With ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (2)").Sort
        .SetRange Range("A3:A046")
        .Header = xlGuess
        .MatchCase = False
        .Orientation = xlTopToBottom
        .SortMethod = xlPinYin
        .Apply
    End With
    Selection.Copy
    Range("C4").Select
    Sheets("一覧 (3)").Select
    Range("A4").Select
    Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _
    :=False, Transpose:=True
    Range("C5").Select

    Sheets("一覧 (全データ) (2)").Select
    Range("A3:A0102").Select
    ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (全データ) (2)").Sort.SortFields.Clear
    ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (全データ) (2)").Sort.SortFields.Add Key:=Range("A3:A46")
    .SortOn:=xlSortOnValues, Order:=xlAscending, CustomOrder:=
    , 出席番号,性別,名前,50m,100m,ソフトボール投げ,走り幅跳び,走り高跳び,立ち幅跳び,握力(右),握力(左),長座前屈,シャトルラン,上体起こし
    , DataOption:=xlSortNormal
    With ActiveWorkbook.Worksheets("一覧 (全データ) (2)").Sort
        .SetRange Range("A3:A046")
        .Header = xlGuess
        .MatchCase = False
        .Orientation = xlTopToBottom
        .SortMethod = xlPinYin
        .Apply
    End With
    Selection.Copy
    Range("C4").Select
    Sheets("一覧 (全データ) (3)").Select
    Range("A4").Select
    Selection.PasteSpecial Paste:=xlPasteValues, Operation:=xlNone, SkipBlanks _
    :=False, Transpose:=True

```

画面下にあるスクロールバーを動かして、①、②の部分の行の最後の部分を表示する

「泳ぎ (距離), 背泳ぎ (タイム), 背泳ぎ (距離), シュート本数, パス能力, ドリブル能力」

「泳ぎ (距離), 背泳ぎ (タイム), 背泳ぎ (距離), シュート本数, パス能力, ドリブル能力」

「ドリブル能力」の後に増やした項目を入力する(項目と項目の間は半角のコンマでつなげてください)

例

「...ドリブル能力, 跳び箱, 鉄棒, マット」

(この順番に並び替えるというマクロです データ選択の一覧を表示する際、表示する順番を変更したい場合は、この順番を入れ替えてく



右上の「×」  
で閉じる

